

(様式3)

令和7年度 中間評価

学校名 湯梨浜町立羽合小学校

校長名 知久馬 和紀

印

1. 学校の教育目標

やさしく かしく たくましく
～仲間とともに 地域とともに 未来を切り開く子どもの育成～

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 落ち着いた生活の中で、「個」と「集団」の力を伸ばす。
- 身に付けさせるべき資質・能力が身につく授業改善を進める。
- 地域とつながり、地域に根ざした教育活動を充実させる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	中間評価	課題及び改善点
(1)心を耕し豊かな心を育む【やさしく】 ○あたたかい学級づくり ・Hyper-QU[承認得点] A：肯定的評価 80%以上 B：60%以上	B	<Hyper-QU[承認得点]> 69.9% (B評価) ・「いいところみつけ」の具体的な取り組みを紹介したことで、各クラスで実践でき、同じクラスの友達の良いところに目が向くようになってきた。 ・「うめライス」の啓発動画を作成し、各クラスで視聴、一週間のがんばり期間を設けたことで、少しずつあたたかい聞き方が身に付きつつある。今後も継続していきたい。
○友だちとのよりよい関係の構築 ・児童アンケート ア「誰にでも、自分からあいさつをしている」 イ「友だちをよぶときは、『さんづけ』をしている」 A：肯定的評価 80%以上 B：60%以上	B	<児童アンケート> ア 70.3% (B評価) イ 82.3% (A評価) ・あいさつについての項目の肯定的評価は70.3%だが、学年によって差がある。 ・さらにより姿を広げるために、あいさつマスターに選ぶ人数を増やし、意欲付けをする。 ・朝のあいさつ運動を充実させる取り組みをする。(ボランティア、あいさつマスターの活用など) ・授業中は「さん」付けをする意識はあるが、休けい時間には仲の良い友達ほど呼び捨てする姿が見られるので、適宜声かけや指導をしていく必要がある。

(様式3)

<p>(2) 未来を切り拓く資質・能力を育成する 【かしこく】 ○身につけるべき力の確実な定着 ・算数科における単元テスト 重点とした単元（問題）の得点率 A：80%以上 B：70%以上</p> <p>○児童の意欲的な学習参加 ・算数の授業に係る児童アンケート ウ「(評価) 問題を解き終えたとき、どのようなことをしていますか。」 エ「解き終わらない、困ったときにどんなことをしていますか。」 A：肯定的評価 90%以上 B：70%以上</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>＜各学年で重点的に指導を行った単元における単元テストの得点率＞ 1年生：「10 よりおおきいかず」 正答率：97% （A評価） 2年生：「100 をこえる数」 正答率：79.6% （B評価） 3年生：「時こくと時間」 正答率：75.1% （B評価） 4年生：「垂直と平行と四角形」 正答率：62% （C評価） 5年生：「割合 I」 正答率：64.7% （C評価） 6年生：「分数÷分数」 正答率：72.1% （B評価） 特別支援学級：児童の実態に合わせ、丁寧に復習を行い、技能面の定着に向け、反復練習に取り組んだ。また一人一人に応じた細かな支援を講じることができた。</p> <p>【改善策】 ・算数の学習の導入に、時間を確保し、復習を行う。少ない問題数、少ない時間で解ききれるものを用意し、反復して練習する。 ・朝学習にて、重点的に取り組む単元の基礎基本の定着を目指す。 ・放課後学習を活用し、学習内容を補充する時間にあてる。</p> <p>＜児童アンケート＞ ウ 3年生：100% （A評価） 4年生：72% （B評価） 5年生：100% （A評価） 6年生：84.2% （B評価） エ 3年生：90.9% （A評価） 4年生：100% （A評価） 5年生：100% （A評価） 6年生：94.7% （A評価）</p> <p>・それぞれの質問に対する回答から「友だち」に関する項目に多くの肯定的評価が見られた。授業の中で、子どもたち同士で積極的に関わり合っていることがうかがえる。</p>
--	-------------------	---

(様式3)

<p>(3)健康でたくましい心と体づくりを行う【たくましく】</p> <p>○基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none">・ぐっすりデー <p>A：達成率 85%以上</p> <p>・健康アンケート</p> <p>オ「ゲームやインターネットをするときの約束の有無」</p> <p>A：達成率 80%以上</p> <p>○あきらめず粘り強く身体づくりに取り組む児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・がんばりカード <p>カ「目標にむかってねばり強くがんばれましたか。」</p> <p>A：はい 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none">・児童アンケート <p>キ「体育の学習で、目標を持ってねばり強く取り組むことができましたか。」</p> <p>A：肯定的評価 80%以上</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>＜ぐっすりデー達成率＞79%（B評価）</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度に比べると改善傾向にあるが、ぐっすりデーの達成率が79%であった。・各学年、目標時刻までに布団に入っていることを目指すために、寝る準備を早めに済ませておく等といった指導を継続していく。・健康アンケートは後期に実施するので、今回の評価指標には入れない。 <p>＜児童アンケート＞</p> <p>キ 89%（A評価）</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケートの肯定的評価は80%以上であるが、昨年度と比べると肯定的評価は下がっているので、課題は残る。・今年度から合同での体育が増えた。場の設定や運動量の確保が難しくなっていることが影響していると考えられる。・陸上大会に向けた放課後練習では、目標別に3チームに分けた。それぞれの目標に合った練習メニューや場の設定をすることで、前向きに練習に取り組む姿が多く見られた。日々の体育の時間にも工夫をしていきたい。
--	-------------------	--

(様式 3)

<p>(4) 地域とともにある学校づくり【開かれた学校】</p> <p>○積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート <p>ク「学校は、参観日や各種たよりやホームページなどで、子どもたちの様子をよく伝えている。」</p> <p>ケ「私は学習参観や学校行事に、積極的に参加している。」</p> <p>A：肯定的評価 85%以上</p>	<p>A</p>	<p>＜保護者アンケート＞</p> <p>ク 85.8%（A評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同時期からやや評価を下げた。今後も積極的な情報発信を継続したい。 <p>ケ 89.8%（A評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同時期とほぼ同等の高い評価であった。学習参観や学校行事への参加は積極的に行われている。
<p>○地域に学ぶふるさと教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元計画に基づき、地域の人、もの、ことと深く関わる学習ができたかどうかで評価する。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科や習字の時間を中心にボランティアの方に協力いただいて授業を進めることが日常化されている。 ・ゲストティーチャー等の活用も各学年で進めている。 ・生活科や総合的な学習の時間など、単元計画に基づいて、町探検に出かけるなど、地域の人、もの、ことに関わる学習が進んでいる。

◎3の「中間評価」の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である